



2022年6月3日

各 位

長野県北安曇郡白馬村大字北城 6329 番地 1
会社名 日本スキー場開発株式会社
代表者の役職氏 代表取締役社長 鈴木 周平
(コード番号：6040 東証グロース)
問合せ先 管理本部長 佐藤 祥太郎
電話番号 0261-72-6040

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年3月4日公表の「2022年7月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」におきまして、2022年7月期の通期連結業績予想をレンジで開示しておりましたが、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年7月期 通期連結業績予想（2021年8月1日～2022年7月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	一株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,100 ～5,600	100 ～600	100 ～600	0 ～375	0.00 ～24.73
今回予想値 (B)	5,400	250	300	25	1.65
増減額 (B) - (A)	300 ～△200	150 ～△350	200 ～△300	25 ～△350	
増減率 (%)	5.9% ～△3.6%	150.0% ～△58.3%	200.0% ～△50.0%	-	
(ご参考) 前期実績 2021年7月期累計	4,546	△428	△267	△480	△31.21

2. 業績予想の修正理由

売上高については、新型コロナウイルス第5波及び第6波に伴う経済活動の制限や停滞はあったものの、シーズン当初から十分な自然降雪に恵まれるとともに国内来場者数増加に係る取り組み等の成果もあり、前回予想レンジの範囲内となる見込みであります。

同様に利益につきましても、営業利益、経常利益については、資源価格の高騰等による減益影響はありましたが、コスト管理を徹底したことや、助成金収入等もあり前回予想レンジの範囲内となる見込みであります。また、親会社株主に帰属する当期純利益も、スキー場施設に係る減損損失等の計上を行いました。前回予想レンジの範囲内となる見込みであります。

なお、6～7月の天候については、例年並みの梅雨入り、梅雨明けとなることを前提としております。



(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。

以上